

農林だより 令和6年度7月号



長野県下高井農林高等学校 TEL 0269-82-3115 (代)

ホットな情報は、QRコードから

7/1 電気柵講習

連日のようにクマなどの野生動物による被害が報道されています。被害は農業にとどまらず一般生活にまで及んでいます。そのような中、環境創造コース3年生は獣害防止策のひとつ電気柵について講習を受けました。注意事項等について説明を受けた後、生徒は実際にホウキモロコシ園場の周囲に電気柵を設置しました。電気柵を扱うことが特別ではなくなっている現代、だれもが扱う可能性があります。生徒は今回の講習をうけ電気柵について理解を深めました。地域に貢献できる知識がまた一つ増えましたね。



7/11 中学生との交流 ～バンブーキャンドルづくり～

7月11日(木)環境創造コース3年2名は、来校した信州大学教育学部附属長野中学校の生徒9名にバンブーキャンドルの作り方を教えました。同中学生は、放置竹林問題改善について探究しており、伐採された竹の有効活用を図っているとのことでした。

本校生徒は、竹の切り出し方、器具の使い方など、実演しながら教え、時には中学生の作業をサポートしました。完成後は、中学生の完成品を持ち喜ぶ姿や「知らなかったことを学べてよかった」の言葉に安堵していました。



～農林の動物たち～

2年生の地域資源活用の授業では、動植物の飼育栽培やその利用について学んでいます。そのため、農林高校には黒毛和牛や豚、馬、山羊などの動物が飼育されています。黒毛和牛は先日、子どもを産みました。授業の一環で畜舎の掃除をすることも生徒の大事な役割です。

また、違う時間には生徒たちが乗馬体験をしました。馬は産業動物であり、物を運んだり人を乗せたりなどの役割を担うことができます。家畜として利用するためには、生徒が動物に慣れるだけでなく、動物が人間に慣れることも重要です。学校で飼育しているのは木曾馬で、おとなしく人懐っこい性格のため、生徒が学ぶ教材として活用されています。動物たちとふれあい、お世話をしていく中で、命について学べることも農業高校の特色で良いところだと感じます。

